第4号
発行所
長野県飯田OIDE長姫高等学校
同窓会
会長 吉澤章夫
発行人
会報委員長 長谷部徳治
印刷
三晃印刷株式会社

母校の隆昌を

飯田OIDE長姫高校 同窓会長
吉澤章夫

同窓会が新たにスタートをして4年目を迎えました。

本部の活動も、会員の皆様のご理解をいただき、ほぼ定着しつつあります。

また、5年以内に全支部統合を目指してご努力を頂く中、7月30日現在で、15支部の統合を済ますことが出来ました。しかし、残り14支部を、あと二十ヵ月で終えなくてはなりません。

そこで本年度は、支部統合を最重点課題とし、全役員が未統合の支部担当となり、連携支援を進め、結果に繋げる努力を始めています。関係各位のご協力を宜しくお願い致します。

母校は今、統合のメリットが表れ始めています。総合技術高校としての新たな取り組みが、学校の魅力として地域に受け止められていること、生徒数が増えたことで、クラブやサークル活動が活性化していること等です。定期総会で行われた、生徒たちの活動発表内容は、両校の伝統を受け継ぎ、成長を続けている様子を感じるものでした。

そんな後輩の為に、毎年200万円、授業並びにクラブ支援金として拠出していますが、さらに本年より、マイクロバスを新たに貸し付ける事業を開始いたしました。

今後も「母校の隆昌」に繋がる事業に取り組んでまいりますので、引き続きご理解御協力をお願い致します。

校長あいさつ

飯田OIDE長姫高校 学校長
三澤秀樹

同窓会の皆様には、日ごろから物心両面からご支援をいただいており心から御礼申し上げます。

私は、本校再編の過程では教育委員会事務局担当の一人として関わり、今年度四月に赴任いたしましたが、開校四年目の本校に、すでに卒業生総数27,403人の大きな同窓会があることに、心強さとともにありがたさを感じております。

昨年度末に飯田OIDE長姫高校として入学した生徒が初めて卒業し、最初の第一歩を無事踏み出せ、今年度は次の一歩を踏み出すところと考えております。

全校生徒940名の南信地区最大規模の高校となり、活発な明るい校風で志願者数も増加しております。

同窓会総会では、例年のご支援に加え、これまで校外での教育活動に利用していたマイクロバスの安全性をご心配いただき、新たにリースによる更新をご決定いただきました。21世紀型学力育成に先進的に取組む本校では、部活動以外でも校外での教育活動が増えており、非常にありがたいご配慮に改めて感謝申し上げます。

これまでの数々のご支援や皆様のご期待に応えられるよう私ども教職員も全力で努めてまいります。今後とも本校の最強の応援団として、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

定期総会開催される

同窓会事務局長　吉川文人

平成28年度の定期総会は5月28日（土）午後3時より飯田市のシルクホテルで開催されました。

来賓には母校の三澤校長をはじめとした学校関係者と関東・関西・中京地区の代表者をお迎えし、120名の出席により盛大に行われました。

吉澤会長からは、総合技術高校としての取り組みが地域に発信され、中学生の人気も高い高校になっていると現状に触れ、更に支援をしていきたい。同窓会活動は特に未統合支部の統合に向けた活動を強化していきたいとあいさつがありました。

会長あいさつ

学校発表（門扉製作）

議事では27年度事業報告、収支決算、28年度事業計画、収支予算が承認されました。

二部では、生徒の活動発表がありました。全学科の生徒で取り組んだ「門扉の製作」「商業科の高校生が主体の楽しいまちづくり」「コンピュータ制御部のテックレンジャーショー」以上3部門で行われ、それぞれの発表に会員は、後輩の姿を頼もしそうに見つめていました。

懇親会では例年のごとく和やかな雰囲気の中、会員相互の親睦が図られました。

テックレンジャーショー

同窓会から マイクロバスを母校へ

平成14年に長姫高校創立80周年記念事業の一環として同窓会が貸与していたマイクロバスが、14年の年月が経ち老朽化し、走行にも支障をきたすようになったため新しい車を考えてもらえないかと学校から相談がありました。

執行役員、理事会において検討した結果、同窓会が業者とリース契約を結び学校へ貸し出す方式を決定、5月の定期総会において承認され今回新調することになりました。

6月13日同窓会と学校の代表者が立ち会う中、安全祈願と鍵の引き渡し式を行いました。

校長先生は「古くなって力も無くなっていたので非常にありがたい。クラブ活動も盛んになっており、クラブ活動以外でも校外へ出る授業も増えている。この車で更に充実していける」と話しておられました。

第 2 号議案

平成27年度　飯田OIDE長姫高等学校同窓会
収 支 決 算 書

自　平成 27 年 4 月 1 日
至　平成 28 年 3 月 31 日

収入決算額　15,573,783 円
支出決算額　10,389,206 円
差 引 残 額　5,184,577 円

収入の部

（単位：円）

科　目	予 算 額	決 算 額	増 減（△）	備　考
1　入 会 金	942,000	945,000	3,000	新入生315人×3,000円
2　維 持 費	8,540,000	9,125,900	585,900	
(1) 一般納入金	6,300,000	6,937,900	637,900	振込965人　集金5,442人
(2) 卒業時納入金	2,240,000	2,188,000	△ 52,000	卒 業 生266人 ×8,000円 12人×5,000円
3　雑 収 入	680,329	567,212	△ 113,117	総会・新年理事会費・飯田自動車学校寄付金
4　繰 越 金	4,935,671	4,935,671	0	
合　計	15,098,000	15,573,783	475,783	

支出の部

（単位：円）

科　目	予 算 額	決 算 額	増 減（△）	備　考
1　運 営 費	3,620,000	3,404,247	△ 215,753	
総会費	1,000,000	958,556	△ 41,444	
会議費	500,000	388,352	△ 111,648	新年会ほか
旅　費	100,000	147,812	47,812	
需要役務費	700,000	534,527	△ 165,473	
(1)水道光熱費	10,000	7,751	△ 2,249	
(2)通信費	210,000	206,432	△ 3,568	
(3)雑　費	80,000	23,298	△ 56,702	
(4)事務費	400,000	297,046	△ 102,954	封筒代ほか
慶弔費	300,000	355,000	55,000	支部総会祝儀
人件費	1,020,000	1,020,000	0	
2　事 業 費	5,182,000	4,984,959	△ 197,041	
(1) 学校支援事業	234,000	219,200	△ 14,800	
会員歓迎費	154,000	139,200	△ 14,800	
授業等支援協力金	0	0	0	別途2,000千円を交付 飯田自動車学校寄付金
クラブ活動助成金	80,000	80,000	0	
競技大会褒賞金	0	0	0	
(2) 会報発行費	2,200,000	2,223,005	23,005	会報印刷・関係書類印刷等
(3) 名簿管理費	130,000	129,600	△ 400	
(4) 手数料	1,700,000	1,738,742	38,742	集金・払込手数料
(5) 負担金	170,000	136,080	△ 33,920	
(6) 支部育成費	550,000	380,000	△ 170,000	
(7) 助成金費	150,000	110,332	△ 39,668	
(8) ホームページ管理費	48,000	48,000	0	
3　積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	
4　予 備 費	4,296,000	0	△ 4,296,000	
合　計	15,098,000	10,389,206	△ 4,708,794	

扇風機設置特別会計（貸付金）

貸付残高		5,194,000円
28. 3.11	PTA返済金	400,000円
28. 3.22	学校返済金	400,000円
貸付残高（28. 3.31）		4,394,000円

第 1 号議案

平成27年度　事 業 報 告

年　月　日	事　業　報　告	
平成27. 4. 7	母校　入学式	（母校）
5.18	監査会	（育友会館）
5.25	執行役員会	（育友会館）
5.28	高森支部総会	（美好）
5.31	千代支部総会	（米川公会堂）
6. 3	第 3 回同窓会ゴルフ春季コンペ	（高森カントリークラブ）
6. 7	松川支部総会	（松川中央公民館）
6.13	定期総会	（シルクホテル）
7. 4	上郷支部総会	（上郷公民館）
7. 7	執行役員会	（育友会館）
7.11	鼎支部総会	（大雅飯店）
7.12	松尾支部設立総会	（ほっ湯アップル）
7.12	座光寺支部総会	（座光寺公民館）
7.17	羽場支部総会	（吉澤旅館）
7.20	伊賀良支部総会	（小鈴）
7.25	橋北支部総会	（丸現）
7.26	龍江支部総会	（いまだ）
7.26	関東地区同窓会	（アルカディア市ヶ谷）
8.27	執行役員会	（育友会館）
8.27	学校と同窓会意見交換会	（ビーラックスマツカワ）
9.16	同窓会報第 3 号発行	
9.26	丸山支部総会	（ウエストファーム）
9.27	橋南支部総会	（とりきん）
10.20	支部長・地区代表者会	（育友会館）
11. 1	中川支部総会	（JA 上伊那中川支所）
11. 6	第 6 回同窓会秋季ゴルフコンペ	（飯田カントリー倶楽部）
11.14	第 2 回関西地区大会	（ホテルホップイン）
11.14	第 8 回飯田下伊那地区高校同窓会 中京地区合同懇親会	（中日パレス）
11.14	竜丘支部総会	（ドライブイン開善寺）
11.28	下條支部総会	（月下美人）
11.29	上久堅支部総会	（食工房十三の里）
平成28. 1.23	執行役員会	（舞鶴）
1.23	役員新年会	（舞鶴）
2.15	飯伊地区高校同窓会連絡協議会	（シルクホテル）
2.20	飯田長姫高校東海地区同窓会	（キャッスルプラザ）
2.21	伊賀良支部統合設立総会	（木下工務所）
3. 3	母校定時制卒業式	（母校）
3. 5	母校全日制卒業式	（母校）
3.13	喬木支部統合式典・定期総会	（福祉センター）

第 4 号議案

平成 28 年度　飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会

収 支 予 算

自　平成 28 年 4 月 1 日
至　平成 29 年 3 月 31 日

収入予算額　16,492,000 円
支出予算額　16,492,000 円
差 引 残 額　0 円

収入の部

（単位：円）

科　目	予 算 額	前年度決算額	増 減（△）	備　考
1　入 会 金	930,000	945,000	△ 15,000	新入生310名×3,000円
2　維 持 費	9,172,000	9,125,900	46,100	
(1) 一般納入金	6,700,000	6,937,900	△ 237,900	振込1,000名　集金5,400名
(2) 卒業時納入金	2,472,000	2,188,000	284,000	卒業生309名×8,000円
3　雑 収 入	1,205,423	567,212	638,211	総会、新年理事会、マイクロバス使用料
4　繰 越 金	5,184,577	4,935,671	248,906	
合　計			918,217	

支出の部

（単位：円）

科　目	予 算 額	前年度決算額	増 減（△）	備　考
1　運 営 費	3,800,000	3,404,247	395,753	
総会費	1,100,000	958,556	141,444	資料、総会
会議費	500,000	388,352	111,648	役員会、支部長会、委員会
旅　費	130,000	147,812	△ 17,812	出張旅費
需要役務費	700,000	534,527	165,473	
(1) 水道光熱費	10,000	7,751	2,249	
(2) 通信費	210,000	206,432	3,568	電話代、切手代
(3) 雑　費	80,000	23,298	56,702	
(4) 事務費	400,000	297,046	102,954	用紙、コピー代、封筒代
慶弔費	350,000	355,000	△ 5,000	支部総会祝儀
人件費	1,020,000	1,020,000	0	
2　事 業 費	6,131,000	4,984,959	1,146,041	
(1) 学校支援事業	1,083,000	219,200	863,800	
会員歓迎費	144,000	139,200	4,800	卒業証書ホルダー
授業支援金	0	0	0	別途2,000千円を交付
ものづくり支援金	0	0	0	飯田自動車学校寄付金
クラブ活動助成金	80,000	80,000	0	
競技大会褒賞金	0	0	0	
リース料	859,000	0	859,000	マイクロバス
(2) 会報発行費	2,250,000	2,223,005	26,995	
(3) 名簿管理費	130,000	129,600	400	
(4) 手数料	1,750,000	1,738,742	11,258	集金手数料、払込手数料
(5) 負担金	170,000	136,080	33,920	
(6) 支部育成費	550,000	380,000	170,000	支部設立奨励金、支部育成費
(7) 助成金費	150,000	110,332	39,668	女性部、ゴルフ会
(8) ホームページ管理費	48,000	48,000	0	
3　積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	
4　予 備 費	4,561,000	0	4,561,000	
合　計	16,492,000	10,389,206	6,102,794	

積 立 金 明 細

27年度始積立金	8,669,170円
新規積立金	2,800,000円
預金利息	1,838円
年度末積立金	11,471,008円

平成 28 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

科 目	摘　要	金　額	備　考
定期預金	飯田信用金庫名古熊支店　No. 1	274,441	
〃	〃　No. 2	265,896	
〃	〃　No. 3	506,046	
〃	〃　No. 4	2,028,358	
〃	〃　No. 5	64,534	
〃	〃　No. 6	3,000,637	
〃	〃　No. 7	800,170	
〃	〃　No. 8	2,000,000	27年度積立金
〃	〃　No. 9	400,000	貸付返済金
〃	〃　No. 10	400,000	〃
	信　金　計	9,740,082	
定期預金	八十二銀行八幡支店　No. 11	1,730,926	
	合　計	11,471,008	

監 査 報 告

帳簿及び伝票を監査致しました結果、正確であることを証します。

平成 28 年 5 月 13 日

監事　林 日出登

監事　松下 清二

第 3 号議案

平成 28 年度　事 業 計 画

1. 平成 28 年度総会の開催

　日　時　平成 28 年 5 月 28 日㈯　午後 3 時
　会　場　シルクホテル　飯田市錦町 1 -10
　内　容　定期総会・在校生による活動報告

2. 学校支援事業
3. 会報第 4 号の発刊
4. 支部組織の拡大・充実の支援
5. 会員増強に関する事業
6. 執行役員会の開催及び正副会長会の開催
7. 理事会、支部長会の開催
8. 各委員会及び、各種会議の開催
9. 会員名簿作成・管理
10. ホームページの更新、管理
11. 会の目的推進に寄与する事業への補助
12. 飯伊地区高校同窓会との連携
13. 母校との連携
14. その他執行役員会で必要とした事業

熊本地震 被災地へ 義援金を送る

5月28日開いた同窓会定期総会で参加者から募った、熊本地震被災地への義援金を、飯田市役所危機管理室へ届けました。

会員から寄せられた74,918円に会からの拠出を加えた10万円を寄付しました。

平成27年度
同窓会支援の対象事業一覧

支援対象事業	個人・団体名称	概　　要	助成額（円）
授業支援金		教室用扇風機設置費用の償還	400,000
	商業科	教科「総合技術」の教材開発費用	19,896
	機械工学科	企業連携に関わる費用	102,133
	建築学科	講演会　講師謝礼金	10,000
ものづくり支援金	機械工学科	国家技能検定に関わる費用	113,376
	電気電子工学科	国家技能検定に関わる費用	281,880
クラブ活動助成金	原動機部	競技用電気自動車製作費用	227,532
	野球部	グランド西側への防球ネット設置費用	234,181
	電気部	ものづくりコンテスト／ロボット製作費用	253,412
	コンピュータ制御部	テックレンジャー等活動費用	220,765
	バドミントン部	シャトル購入費用	32,316
	定時制電気工芸部	生徒会ゆるキャラ着ぐるみの製作費用	33,642
競技大会報奨金	原動機部	Ene-1GP MOTEGI　全国大会　総合１位	15,000
	原動機部	Ene-1GP SUZUKA　全国大会　総合１位	15,000
	原動機部	高校エコカーレース総合大会　各部門１位	5,000
	原動機部	EconoPower in GIFU　総合１位	5,000
	原動機部	エコデンレース競技　総合１位	5,000
	建築学科	全国高校生建築製図コンクール　金賞	10,000
	建築学科	全国高校生建築製図コンクール　銀賞	5,000
	建築学科	全国高校生建築製図コンクール　銀賞	5,000
	建築学科	全国高校生建築製図コンクール　銅賞	3,000
	建築学科	全国高校生建築製図コンクール　銅賞	3,000

助成合計金額：2,000,133 円
（133 円は預金利息）

※2,000千円は（一財）OIDE会の資金を充当しています。

支部だより

統合により最大の支部に

伊賀良支部長　福澤善紀

伊賀良支部は本校統合と同時に、支部の統合を視野に入れ、旧長姫と旧飯工の役員間で、前向きに話し合いを進め、各々の総会にはオブザーバーとして、代表が出席する等、統合に向けての理解を深めてきました。

平成27年5月28日から、平成28年2月17日迄に合同役員会4回、準備委員会2回を開催し、統合に向けての準備を進めました。

統合設立総会は、平成28年2月21日に、育良町の㈱木下工務所会議室で、30名の会員が出席のもと、本会より吉澤会長と長谷部副会長の出席をいただき開催しました。統合の経過報告、会則の決定、役員の選出について、全会一致で決定しました。

統合により当支部は旧長姫700余名、旧飯工500余名の計1300名を越える、同窓会最大の支部になりました。マンモス支部だけに、それなりの問題もあります。

統合したからといって直ちに統一した事業を行うのではなく、当分の間は夫々の活動を行い、だんだんと融和を図り、一日も早く実質的な統合が出来ます様に、お互いに確認し合って進めて参ります。

喬木支部統合の経緯

喬木支部長　林修亨

喬木支部は今年3月、吉澤同窓会長立ち合いのもと支部の統合式典と統合後初の総会及び懇親会を行いました。工業側新理事27名の加入により総勢63名の理事による新しい喬木支部の誕生です。

統合の話が具体的に動き出したのは工業の準備委員が昨年3月の定期総会にオブザーバーとして参加してくれた時からでした。「工業側の協議を静かに見守ってほしい」との要望で長姫側は「色よい返事を待つ婿様」の心境。10月に育英会館で行われた統合済支部の体験発表には双方の代表者が参加し大変参考になりました。「3月の定期総会の時に統合したい」との連絡を頂いたのが12月。工業の会議資料にあった「作業は後戻り無しで進行要」は統合に向けた力強いメッセージであり、無組織から立ち上げられた工業準備委員のご苦労に頭が下がりました。

最初の共同作業は「まず一杯」。その後は双方数名の委員で統合に向けた話し合いを行い、3月に目出度く統合できました。当面はOIDE分会と長姫分会で会費徴収を分担し、順次組織の再編成を含めた検討をしていく予定です。

駒ヶ根支部統合について

駒ヶ根支部長　清水文喜

平成28年4月16日(土)に、駒ヶ根支部設立総会を開催し、旧長姫、飯田工業の統合同窓会が発足しました。統合に至るまでの経緯を振り返ってみます。

平成26年度より、市内在住の飯田工業OBと統合に向けて、前支部長田畑利昭氏(商業13回)と原正彦氏(機械6―二)喬木出身で吉澤会長と同級生が話し合いを勢力的に進めていただき、長姫3名、工業2名で設立準備会を立ち上げて数回の会合を開きました。近隣で先に統合している中川・飯島支部の設立状況を参考にしながら同窓会の目的・会則等を確認し、設立総会の運びとなりました。

設立総会には、本会から吉澤会長、中川・飯島の各支部長ご列席を賜り開催しました。総会では支部長1・副支部長2(長姫1・工業1)理事13(長姫11・工業2)事務局1等を選出しました。

統合により支部も長姫93名、工業27名、総計120名の会員数となりました。今後は会員相互の親睦を図り、本校の繁栄と発展に協力すると共に、地域社会の一員として活躍されることを期待しております。

待望の橋南支部設立

橋南支部長　木下親亮

橋南支部設立総会開催までの準備として昨年9月27日に旧長姫高校・旧工業高校より4名ずつ計8名で会合を持ち、具体的にどのようにして進めるかの検討を始め、設立役員の人選から日程的なものの決定をみて、再度こんどは28年4月2日設立総会の日付けを4月17日とし、支部の規約そして役員と町内毎に両校より理事の選出と呼び掛けに入った。

そして、平成28年4月17日本会より吉澤同窓会長のご臨席を賜り、13名の出席を得て、各々自己紹介をする中、和気藹々に両校同窓生により橋南支部が発足することになりました。

先づは同窓会支部設立の意義・規約の決定及び役員の選出もスムーズに進行し、一層の友交と同窓生への今後の呼び掛けを依頼して当日の資料に従い出席者全員の賛同を得ましたので懇親会へと進んで行きました。

両校同窓生が交流する中、支部を発展させるためのご意見などもいろいろと出ました。最後は締めとして、旧工業高校校歌、旧長姫高校校歌、そして飯田OIDE長姫の校歌を聞き、丸上副支部長の音頭で万歳三唱をして設立総会を閉じました。

× × × ×

豊丘支部統合について

豊丘支部長　小杉山勝彦

去る5月28日での同窓会定期総会の折にも有りましたが、5月30日付で支部統合推進強化期間と言う事で、6月1日から7月31日迄の2ヶ月間の内に是非豊丘支部も立ち上げて下さいとの事でした。そうは言っても6月は全日数、多面で埋まって居て動けず結局7月

の1ヶ月の有余からの出発でした。最初に7月24日の日曜日を設立日と定め、逆算で2週間前の7月12日火曜日を役員理事会とし、1日からまず昨年27年度に集金等でお世話に成った方々に、それぞれお一人ずつ顔を見ながら設立に向かってのご理解を戴きに歩き、各地区毎に、又その細分の自治会担当の皆様にと順次お願いに伺いまして、お陰様に皆様それぞれ心良くご返事が戴け、事は着々と前進しました。設立総会日には、本会から吉澤会長、常任顧問の佐々木にご臨席を賜り、提出議題などは全員一致で承認され盛大に行う事が出来、順調なスタートを切る事が出来ました。とにかく旧工業、旧長姫と言う隔壁を取り去り、お互いに同じ村内に生活しているんだと言う共有意識を持って仲良く協力して行く事が大切かなと思っております。

統合した同窓会山本支部が設立

山本支部　瓜生

去る6月11日(土)午後6時より、飯田OIDE長姫高等学校同窓会山本支部設立総会が開催されました。

当日は、同窓会本部より吉澤会長が来賓として参加され、ご挨拶を頂きました。ご挨拶の中で山本支部は、旧長姫と旧工業が一つになっての同窓会支部としては13番目の設立になるとのお話でした。

総会では、支部規約と役員の選出及び承認が行われ、その後和やかに懇親会が行われました。

役員になられた方々は次のとおりです。

支部長
竹村　隆夫(旧長姫)
副支部長
竹村　泰彦(旧工業)
会　計
岡山　　正(旧工業)
監　事
松井　芳之(旧長姫)
監　事
金澤　英雄(旧長姫)
地区代表　27名

役員に選出された皆様には大変ですが、統一された支部の運営に期待したいと思います。

さて、ここに至るまでの経過について簡単にまとめておきます。

平成26年9月に、旧長姫と旧工業の代表者数名で同窓会山本支部を統合するとの話し合いがなされました。ここでは、母校の統合に伴い同窓会が統合されたのだから支部も統合するのは理解できても、活動内容や会費の集金方法の違いなど、また出身者が支部員か居住者かという意見も出てきました。その後、何回かの話し合いを重ねて、組織としての山本支部が誕生しました。

統合しました、よろしく

上郷支部長　渡辺　輝欣

平成28年7月2日、同窓会上郷支部設立総会を開催、旧長姫高・飯田工高の同窓会支部を統合し、新上郷支部が発足しました。

設立総会は本会から吉澤会長・今井・宮澤両副会長のご列席をいただき、旧両校同窓会会員40余名の出席により開催されました。

まず、旧校同窓会の最終総会において統合が承認され、引き続き統合による新上郷支部設立総会へ移行し、新支部役員・会則・事業計画・予算案等が承認され、

支部新役員は次の皆さんとなりました。「支部長」渡辺輝欣、「副支部長」松尾勝永・久保田悌司・志水健一（会計担当）・篠田順（事務局長）・木下和子・市瀬朋子の6名。「監事」菅沼英治・輿勝治・堀口好雄・菅沼新治の4名。「顧問」秋山肇・高田正男・西尾眞・堀内健次の4名。「相談役」井坪隆。

支部の今後の大きな課題は維持会費の集金体制の構築などです。新支部は力強くスタートをきりました。

統合により上郷支部の会員数は合わせて1380人、

総会の様子について

中川支部長　久保　益美

同窓会中川支部設立から2年を迎えた11月1日（日）に平成27年度総会を、本会より今井副会長、駒ヶ根・飯島支部からの来賓をお迎えし会員25名の参加により開催しました。

校歌斉唱（テープ併用）の後、事業報告と決算の承認、事業計画と予算案の承認をいただきました。また今回は役員改選の年（2年任期）でしたが、継続から発展への活動向上を目指す

為、引き続き役員を担っていただく事となりました。懇親会では役員の紹介と趣味・ボランティア等で活躍している方からのチョコットスピーチを毎回実施しています。昨年は二科展内閣総理大臣賞受賞の横前秀幸さん、今回は燻製工房代表の木下重幸さん、竹の会夢里人代表米山正克さんのお話を聞きました。出席した皆さんが、楽しいひと時を過ごせるよう今後も工夫したいと考えています。

また当支部では、以前より独自会報の発行を行っており、支部の決算報告・会員の紹介・母校の活躍状況などを会員にお知らせしています。今後も継続しながら母校への支援・会員相互の親睦を図っていきたいと思っています。

平成28年度龍江支部総会開催

龍江支部長　塩沢　敏彦

飯田OIDE長姫高等学校同窓会龍江支部総会は、7月9日「丸山の湯」において、役員ならびに会員23名が、本会から吉澤会長が出席され開催された。

冒頭あいさつに立った鈴木支部長は、支部設立時（平成26年10月）より支部の立上げのために尽力された。

次いで平成27年度事業報告、同会計報告、役員改選、平成28年度事業計画案について説明提案があり、いずれも承認決定された。終了後懇親会が和やかに行われた。尚、当日16名参加によるゴルフコンペ実施予定であったが、天候不良により延期した。

高森支部総会

高森支部長　後藤　英一

平成28年度の高森支部総会は5月18日に町内「美好」で開催されました。

総会に先立ち行われた恒例の親睦ゴルフに10名が参加し、マレットゴルフは3名の参加者が好天の下で腕を競い合いました。

総会には本会より吉澤章夫会長をお迎えし、25名が出席し行われました。支部長挨拶に続き、吉澤会長からは本校の活動内容や、同窓会の学校支援事業について紹介があり、今年度は支部の統合を集中的に推し進めたいと挨拶がありました。引き続き今年度の支部事業・会計の計画案が審議され、また統合二期目となる支部役員の改選は旧工業側は全員留任、旧長姫側3名の交替で承認されました。

懇親会は吉川顧問の乾杯により和やかな歓談の時を過ごすことが出来ました。

橋北支部

橋北支部長　山田　勝利

平成28年7月23日(土)に、橋北支部の定期総会を市内伝馬町の「丸現」で開催しました。来賓に吉澤同窓会長をお迎えし、盛大に行われました。吉澤会長から総合技術専門高校としての母校の多岐にわたる活動実績や、同窓会支部統合の進捗状況等の説明をいただきました。議事では、27年度の活動報告・会計報告ならびに28年度の活動計画・予算案が承認されました。特に新入会員が少なく会員の高齢化が進む中で、維持会費納入先数の増加に努めることや、多数の方の親睦事業(マレットゴルフ大会等)への参加をお願いしました。続いて親睦会に入り、丁度、高校野球県大会の終盤戦であることもあって、春の選抜高校野球優勝の思い出話やマレットゴルフ談義に大いに盛り上がり楽しい一時を過ごすことができました。

飯島支部

飯島支部長　宮下　覚一

飯島支部では、H28年度の定期総会を、8月11日(山の日)に開催しました。同窓会を統合してから2年目となります。ご来賓として本会から吉澤会長、近隣支部の支部長、そして町内在住であり元工業高校時の校長であった上原先生、また現職の松村副校長のご臨席のもと会員30名余の参加を得て盛大に出来たと思っています。

本年は役員改選に当り、新役員の選任が行われ、また新たな顔ぶれの元に出立となりました。

支部の活動としては、事業計画の承認により、会員相互の親睦を図るべく、ゴルフやマレットのスポーツを通じての事業を計画していますが、参加人数が限られてしまうのが現状です。統合された両同窓会員の絆を深めるべく、今後も活動していく所存です。

飯田OIDE長姫高校同窓会 ゴルフコンペ 第6回 第7回 開催

林　日出登

同窓会ゴルフ会コンペは年2回開催しております。

春季は6月、秋季は11月の第一水曜日と決めてあります。

今回が6回大会となり、平成27年11月4日に飯田カントリー倶楽部で開催、71名の参加となりました。優勝は松川町の寺澤仁さんと、一般の部で高森町の小笠原修さんでした。

第7回大会は平成28年6月1日に高森カントリークラブで開催。89名の参加となりました。優勝は東京の森谷清信さんでした。

東京・静岡・名古屋等遠方からの参加に感謝申し上げ、昭和60年・61年卒業の皆さんの参加には更に期待申し上げます。次回には100名の参加を目標に募集しますので、皆様のご協力をお願いいたします。

第6回ゴルフコンペ

第7回ゴルフコンペ

卒業して60年…高校8期商業科同年会

今年になって3月頃であったか同級生から卒業して60年になるので各クラスの在郷代表者に声を掛けて同年会を催したいとの電話が来た。そう言えば50周年を昼神温泉で60数名を集めたのが5・6年前だと思って居たのにと歳月の過ぎる早さを感じた次第です。

早速地元の常連幹事の方々によって進められ、そして出欠の連絡はがきが届いた。

平成28年5月24日25日と昼神温泉清風苑へ三々五々、3時を目標に遠く兵庫・東京と集まり出し、入浴。浴衣に着替えた齢77・8歳の40人近い高校8回卒商業科の面々。

皆さん顔はそれなりに歴史と年輪を感じられる、将に悠々自適な境域に入った人々と言う集まりとなった。未だ若者には負けない酒の呑みっぷりだ。然し欠席者の中には「体調不良」「歩行困難」でと言う人もあり、又、出席者の中でも変調を訴える人もあれば、趣味に人生を委ねる人もありと、時間を忘れて楽しく語らい合えた一日であった。

鬼籍に入った人も20人を越え、10年後の同年会は「リニアに乗って集ろう」と再会を約して商業科の60周年同年会は終わった。

（木下親亮 記）

学校だより

生徒会活動報告

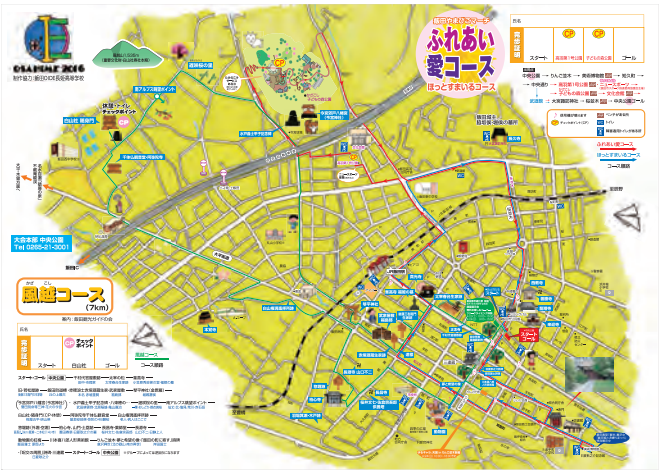
全日制生徒会長　3年E組　手塚駿平

今年度の生徒会テーマは「GAKU」です。このテーマを元に生徒会活動を行っています。特に今年は挨拶と地域との関わりに力を入れています。挨拶は執行部、生活委員会、部長会、代議委員会で協力し毎朝昇降口で行っています。地域との関わりでは、主にボランティア委員会と協力し、やまびこマーチや人形劇フェスタのボランティアスタッフなど地域の皆さんに積極的に関わっています。

やまびこマーチボランティア活動状況

挨拶運動実施状況

また今年は第四回の桜姫祭が開かれました。今年の文化祭のテーマが「Revolution」革命という事で去年とは異なるものを作り上げようということで役員全体で様々な意見を出し合い、去年とはまた違った文化祭を作り上げることが出来ました。これも、専門科の生徒がいるからこそだと改めて感じました。残り少ない生徒会イベントの中で、全員がやりきった充実感とやりがいを感じられるよう、様々な努力をしていきたいと思っています。



やまびこマーチコースマップ

定時制生徒会長　4年T組　斉藤智人

定時制生徒会では、今までやってきた活動や、イベントをふまえた上で、新しく、今までにやってこなかった違うことを探す、一歩踏み出す努力を目標に、生徒会を進めてきました。新入生歓迎会では、一人でも多くコミュニケーションがとれるよう、それぞれのコートに行き会話をしました。そして一年で一番大きな行事である紅姫祭では、オリジナルTシャツを作ったり、ゆるキャラを使ったパフォーマンスをするなど、できそうでできなかった活動をしてきました。これからもどんどん新しいことに挑戦していきたいです。

みんなで作り上げた桜姫祭

文化祭実行委員会委員長　3年C組　熊　谷　賢　太

今年の桜姫祭も成功でした。今年の桜姫祭のテーマは「Revolution」。革命と言う意味でした。新しいことに挑戦しようと役員、生徒全員で新しいイベントなど様々なことに挑戦しました。

私はこの桜姫祭で役員だけでなく、係員や多くの生徒に支えられました。多くの支えがあったからこそ、桜姫祭が順調に進み、トラブルが起きても解決できました。

役員として桜姫祭に参加して、運営する側はとても大変でしたが桜姫祭が成功で終わって言葉にできない達成感が溢れてきて、委員長をしていてよかったと思いました。

キッズタウン

アーチ

部活動 2016年度1学期戦績

全日制

運動部

北信越高等学校総合体育大会　出場

- 水泳部　男子400mリレー
  男子800mリレー
  男子400mメドレーリレー
  男子200m個人メドレー
  男子400m個人メドレー
  男子100m背泳ぎ
  男子200m背泳ぎ
  男子100mバタフライ
  男子200mバタフライ
  男子200m平泳ぎ
  男子400m自由形
  男子1500m自由形
- 柔道部　男子団体
  男子100kg級
  男子100kg超級
- 卓球部　男子シングルス
- ボクシング　男子ライトフライ級
- ラグビー　男子団体

全国高等学校総合体育大会　出場

- ボクシング　男子ライトフライ級

文化部

- 吹奏楽部
  第40回全国高等学校総合文化祭
  パレード部門出場
- 商業研究部
  ワープロ競技　団体　北信越大会出場
  情報処理競技　個人　全国大会出場

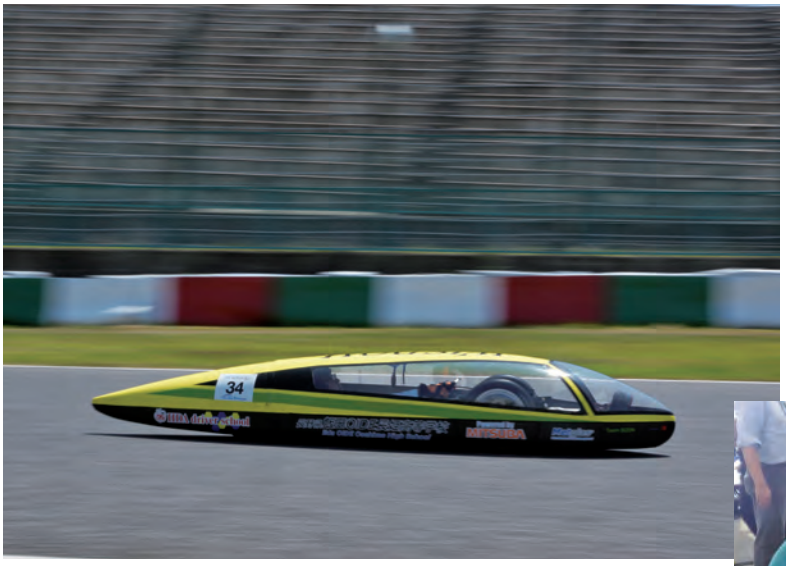
部活動報告

原動機部　大会結果報告

2016 Ene-1GP SUZUKA KV-40 チャレンジ全国大会

原動機部は鈴鹿サーキットで開催された一般企業や大学チームを含めた90台が参加した電気自動車レースで二年ぶり二回目の総合優勝をしました。

この大会は充電式単三電池40本を動力源とする車両で、一周5．8㎞のタイムアタックを3回行い、その合計タイムを競います。



コースはアップダウンが激しく、カーブが連続するため、強力なモーターと、軽くて強靱で空気抵抗の少ない車体と運転技術が必要となります。また、エネルギーも限られているため3周走行できる消費方法も重要となります。飯田工業高校時代に製作した車体を年々改良し、モーターは大会に合わせた設定となるよう製作しました。ホイールやメッキは地元企業に依頼し、飯田自動車学校様の教習コースをお借りして走行練習や車の調整、データ収集をしています。

二年前の総合優勝は強豪チームの相次ぐトラブルによるものでしたが、今回は私たちのチーム力で車体、モーター、運転技術それぞれのパフォーマンスを100％出せた結果と確信しています。

同窓会には助成金による支援をしていただき感謝をしています。今回、大会で結果を出せたことが恩返しになったのではないかと思います。

郷土の動き

世界につながる日本の中央回廊（250万流域都市圏の創造）

三遠南信自動車道

三遠南信地域は、愛知県東部の東三河地域、静岡県西部の遠州地域、長野県南部の南信州地域からなる3県の県境地域である。古くから天竜川や豊川、そして塩の道を通じて交流を育んできた。

平成20年には、三遠南信地域の将来像を「三遠南信250万流域都市圏の創造」とした「三遠南信地域連携ビジョン」を策定し、現時点までに東三河、遠州、南信州の三地域をエリアとする一体的な圏域において、さまざまな分野の交流・連携を更に推進している。

平成24年3月に三遠南信自動車道の鳳来峡ICから浜松いなさ北ICが開通し、また、同年4月に静岡県内の新東名高速道が開通したことにより、愛知県奥三河方面とのアクセス利便性が向上し、観光・製造業流通等の産業分野や医療・福祉等の安全安心分野において多用な効果を発揮しつつある。

20世紀の工業化の進展の中で、東海道を代表される西日本国土軸は、我が国の産業経済を支える最大の産業集積地域であり、一方、日本海側の地域は、太平洋側に比べて産業集積が遅れてきましたが、今後は、大きな発展が見込まれる「東アジア時代」を担う地域として、三遠南信自動車道が開通することにより21世紀の新しい役割が期待されています。

三遠南信自動車道が全面開通することにより、太平洋ベルト地帯の東海道と中央自動車道、長野道、そして北陸道が完全に繋がり「日本中央回廊」としての位置を締め、日本将来のためにも、産業・文化・観光と発展に大きな役割を果たす三遠南信自動車道の建設が、平成31年天竜川を跨ぐ大橋が完成することにより、南信地域は全線開通をし、リニアと共に夜明けが約束される大事業が進行中である。

（木下親亮）

会員訃報

ご冥福をお祈りします

長姫高校

旧2　西田　由雄
旧19　斎藤　康司　27・2
旧19　代田　建一　27・9
旧19　高島　舜
旧19　高坂　正治
旧19　岡庭　立彦　25・10・16
旧20　市川　傳　27・3・14
旧20　今村　栄一
旧21　福澤　利一　25・4・2
旧22　永田　光秋　27・8・17
旧22　田中甲子男
旧22　兵藤　孝夫
旧23　高橋　恭恵　25・11・15
旧23　中原　文雄　28・2・22
旧24　橋都　清宣　25・5・4
旧24　山口　忠男　26
旧25　藤本　英美　27・1・5
旧25　橋都　武　27・6・26
併士　浅井　利博　27・9・6
商1　松澤　勝　27・8・8・29
商2　林　和男　27・1・30
商2　熊谷　久雄　27・4・3
建2　平沢　利昭　27・7・11
土3　康野　伸治　27・11・8
商4　岡島　佳治　26・2・27
土4　岩崎　豊　28・3・24
土4　関　博光　26・2・4
定4　後藤　国男　27・8・26
土5　村沢　潤一　27・9・28
定5　熊谷　實　28・8・2
建6　林　明男　27・11・5
定6　福澤　金司
定6　筒井　光男
商7　嶋岡史農夫
土7　竹内　一郎　26・2・17
建7　山崎　一見　27・5・11
商8　原　利文　27・4・29
土8　原田　正廣　27・3・14
商9　亀山　由和　27・3・4
商9　宮内　広介　27・9・9
建9　鈴木　新謹　26・10
商10　市瀬　時雄　28・2・7
定10　佐藤　英樹　27・2・27
建12　城田　薫　27・10・19
定12　原　広司
土13　原田　忠司　28・5・22
定13　若林　裕　27
建14　大原　勝　27・7
建14　知久　晃　27・6・30
商15　北原　弘子　25
商15　宮島　登　26・11・26
建15　佐藤　健誠　27・11・6
土15　北原　孝郎　26・12・28
土16　成瀬　次男　28・5・26

工業高校

農2　市原　栄松　26・3・4
農2　森岡　明　25
上2　大島　一男
農4　岡本乃ぶ子
機7　井上　治男　25・12・4
電7　原田　敏彦　26・11・6
定10　竹内　昭二　28・6・2
機11　中村　勝　28・5・30
定12　山口　勇八
電12　佐々木和夫
電13　熊谷　幸夫　27・12
電13　中村　星児
電13　伊原　文明　27・6・11
機15　安田　正敏
機16　大原　正義　26
機16　原　里実　27・1
電16　市瀬　多聞　28・1・10
電16　原　康臣　25・11・1
定18　遠山　善栄
電19　窪田　向七　25
機20　加藤　卓
機21　市岡　裕
機56　冨内　拓斗
電56　福島　巌

注）ご家族、支部の皆様からの報告により、お知らせしております。

平成27年度　卒業生進路状況

1．全般の進路状況

課程・学科 ＼ 進路		就職 企業	就職 公務員	就職 自営	進学 大学	進学 短期大学	進学 高専編入	進学 専門学校	その他	計
全日制	機械工学科	22			9	3		6		40
	電子機械工学科	16			13			9		38
	電気電子工学科	25			7			8	1	41
	社会基盤工学科	15	3		3	1		8	1	31
	建築学科	14	1		4			14	1	34
	商業科	31	1		2	14		21		69
定時制	普通科	9				1		1	3	14
	機械科	9						2	1	12
計		141	5	0	38	19	0	69	7	279

2．業種別就職者数

課程・学科 ＼ 業種		農業林業	建設	製造	電気ガス	情報通信	運輸郵便	卸売り小売り	専門技術サービス	宿泊飲食	生活関連サービス	医療福祉	複合サービス	他のサービス	公務員	計
全日制	機械工学科			22												22
	電子機械工学科			13		1	1							1		16
	電気電子工学科		4	14	4			1	1					1		25
	社会基盤工学科		9	1	1		1		1	1				1	3	18
	建築学科		9				2						3		1	15
	商業科	1	2	12			2	8		3		1	2		1	32
定時制	普通科	1	1	4						2	1					9
	機械科		1	5			1	2								9
計		2	26	71	5	1	7	11	2	6	1	1	5	3	5	146

維持会費納入のお願い

同窓会費の納入についてご協力いただき感謝申し上げます。

各支部の統合も約半数の支部が統合し、その他の支部も統合に向け話し合いが行われております。維持会費につきましても例年どおり年間1,000円をお願いすることになっております。この会費は、母校の授業支援（2,000,000円）を主に、会員相互の親睦・会報の発行等に使用させていただいております。趣旨をご理解いただき会費の納入には是非ご協力いただきたいと思います。

個々に会報を送付している会員の皆様には到着後早期にご送付をお願い致します。

各支部においては、会報を届けていただいて集金をお願いします。

飯田OIDE長姫高等学校同窓会ホームページ

http://iida-oide-osahime-reunion.com

TEL&FAX　0265－52－2255

平成29年度 定期総会予告

○平成29年6月3日（土）
　午後2時より
○会場：シルクホテル
○在校生による研究発表
✣飯伊地区は地元新聞広告、全国へはホームページでもお知らせします。
✣多数の同窓生のご出席をお待ちしております。

編集後記

同窓会報の第4号をお届けいたします。

今回も総会の様子、支部からのたより、会員の皆さまからの寄稿、学校の様子等々多彩な記事で紙面を飾ることができました。感謝です。

統合から4年目を迎える今年は、新たに統合した支部、既に活動を行っている支部と「支部だより」を充実しました。

生徒会を中心に挨拶と地域との関わりに力を入れ、毎朝の声かけ、地域に出ての積極的な関わりなど頑張っている後輩の活動の様子を紹介しました。同窓会として、更なる支援の必要を感じます。

会報が、同窓会員相互の情報交換と在校生との絆を育む役割を果たすべく編集委員会一同頑張りますので、益々のご支援をお願い申しあげます。

（T・H）